

ウォーターワールド (1995)

WATERWORLD

メディア 映画

ジャンル アクション SF

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 135分

初公開日 1995/08/05

公開情報 Uni=UIP

【解説】

ケヴィン・コスナー主演のSF未来アクション。何世紀にもわたる環境破壊の末、地球の温暖化が進み、北極・南極の氷はおろか、シベリアの広大な凍土までが全て溶け、地球に大洪水が起こった。海面は上昇し、地表を覆い、やがて陸地は消えて世界はついに海の底に沈んでしまう。それから数世紀。かつて地球と呼ばれたこの惑星にはわずかな人間だけが残されていた。文明と共に漂流を余儀なくされた彼らは海中から引き上げられた既に消滅した世界の残骸から、巨大な人工の浮遊都市を築いていた。そして今、彼らはウォーターワールドとなったこの星に唯一存在すると言われる伝説の陸地“ドライ・ランド”を求め、最後の希望を夢に、冒険の航海に旅立った……。

製作費1億7500万ドルをかけ、壮大なスケールで描いたスペクタクル大作。「マッドマックス/サンダードーム」よろしく、荒廃した未来に生きる人間たちを描いた近未来アクションだが、巨大な人工の浮遊都市のセット、迫力ある水上・水中撮影、映画全編を彩るSFXと、満点とは言えないにしても、その出来ばえはなかなか。時折しもコスナー・バッシングが沸き起こり、金だけかけた凡作のように言われていたが、そんな色眼鏡を外して見ればそこそこに楽しめる。

【クレジット】

| | | |
|-------------|--|--|
| 監督 | ケヴィン・レイノルズ | Kevin Reynolds |
| 製作 | チャールズ・ゴードン ジョン・デイヴィス ケヴィン・コスナー ローレンス・ゴードン | Charles Gordon John Davis Kevin Costner Lawrence Gordon |
| 製作総指揮 | イロナ・ハーツバーグ アンドリュー・リクト ジェフリー・A・ミュラー | Ilona Herzberg Andrew Licht Jeffrey A. Mueller |
| 脚本 | ピーター・レイダー デヴィッド・トゥーヒー | Peter Rader David Twohy |
| 撮影 | ディーン・セムラー | Dean Semler |
| プロダクションデザイン | デニス・ガスナー | Dennis Gassner |
| 美術監督 | デヴィッド・クラッセン | |
| 衣装デザイン | ジョン・ブルームフィールド | John Bloomfield |
| 編集 | ピーター・ボイル | Peter Boyle |
| キャストिंग | デヴィッド・ルービン | David Rubin |
| 音楽 | ジェームズ・ニュートン・ハワード | James Newton Howard |
| 舞台装置 | ナンシー・ハイ | |
| 出演 | ケヴィン・コスナー | Kevin Costner マリナー |

| | | |
|-------------|--------------------|-------|
| デニス・ホッパー | Dennis Hopper | ディーコン |
| ジーン・トリプルホーン | Jeanne Tripplehorn | ヘレン |
| ティナ・マジョリーノ | Tina Majorino | エノーラ |
| マイケル・ジェッター | Michael Jeter | |
| ゼイクス・モカエ | Zakes Mokae | |
| ラニー・フラハーティ | Lanny Flaherty | |
| ジャック・ブラック | Jack Black | |
| ジョン・トールズ＝ベイ | John Toles-Bey | |
| キム・コーツ | Kim Coates | |
| ジェラルド・マーフィ | Gerard Murphy | |
| ロバート・ラサード | Robert LaSardo | |
| ダグ・スピヌZZ | Doug Spinuzza | |
| サブ・シモノー | Sab Shimono | |